

科目区分	専門分野			科目番号	0906	曜日時間	不定期
授業科目	成人看護学援助論Ⅴ						
単位数	1 単位	時間	1 6 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	長谷川 ゆかり						
授業目的	各成人看護学援助論で学んだ知識や看護の思考過程を活用し、手術を受ける対象の援助を学ぶ。						
中核	生体機能の急激な変化とその対象への看護						
授業目標	1. 手術により、どのような機能が障害されるのかを理解する。 2. 手術が成人期の対象にどのように影響するのか理解する。 3. 周手術期の援助の方法が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	備考	
	1	科目ガイダンス 手術療法を受ける対象の看護 周手術期の看護の特徴、術前の看護 事例提示（胃がん患者）・術前のアセスメント		講義	2	授業終了後、 リフレクション シート提出	
	2	手術療法を受ける対象の看護 胃切除を受ける対象の看護過程の展開 術後合併症予防の看護・手術直後の観察		講義	2		
	3	手術療法を受ける対象の看護 胃切除を受ける対象の看護過程の展開 手術直後から回復していくための看護		講義	2		
	4	胃切除を受ける対象の看護過程の展開 術後のアセスメント 術後ベッドなど部屋の準備 輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方		講義 演習 (必修)	2		
	5	胃切除を受ける対象の看護過程の展開 術後1日目の観察から早期離床への看護計画の立案 術後1日目の観察から早期離床への援助の実施		講義	2		
	6	膀胱留置カテーテル挿入学内実習		演習 (必修)	4		
	7	膀胱留置カテーテル挿入学内実習					
	8	デモンストレーション まとめ		講義	2		
終了後課題	ポートフォリオ（思考過程）、リフレクションノート（リフレクションシート）の提出						
評価計画方法	筆記試験、提出物、授業態度から総合的に評価する。						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	看護師：病院勤務 20年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	経験豊富な臨床経験を活かし、成人期における看護過程の展開を周手術期の事例をもとに教授する。						
備考	ポートフォリオ用ファイル（紙ファイル可）を準備すること						